

よこのさんのうばら
横野山王原遺跡

秦野市No.97

- 調査期間** 2014年10月1日～調査中
所在地 秦野市横野
時代 近世、中世、奈良・平安、弥生、縄文
調査原因 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線渋沢駅の北約3kmの扇状地上



主な調査成果

近世面では、宝永年間（1707年）に噴火した富士山の火山灰に覆われた畑を復興するため、天地返しによって掘られた溝や土坑が、調査区の全面にて確認されました。溝や土坑の規模は様々ですが、概ね段切りを単位に同一のパターンで規則正しく並んでいました。

弥生時代の調査では、深さ1.5m以上もある、落とし穴状の土坑が複数発見されました。

縄文時代では、中期初頭（約5,500年前）と早期後半（約8,000年前）の住居状遺構が発見されました。中期初頭の住居跡は、径4mほどの円形の掘り込みをもち、周囲に柱穴が巡り、中央には炉が設けられていました。早期の住居跡は、掘り込みが明確でなく、焼土は住居範囲の外縁部にみられ、柱穴も浅く不明瞭でした。その他、早期の落とし穴状土坑も多数発見されました。ローム層まで掘り込まれた土坑は、スベリ面にて底部と開口部がズレていました。



5区 宝永火山灰廃棄遺構（近世）



6区② Y36号土坑 断面（弥生時代）



8区 J10号住居（縄文時代中期初頭）



6区② 垂飾出土状況（縄文時代中期）